

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



関東地方も梅雨期に入り、これからしばらくは気まぐれな空模様とにらめっこの日々が続きそうです。

シトシト降り注ぐ雨は大地や

樹木を潤して、日本が水の国であることを感じさせてくれますが、カビや異臭、食中毒の心配、洗濯物が乾きにくい・・・等、特に主婦にとっては頭の痛い時かもしれません。

温・湿度も日々変わりますので、体調をしっかりと整え、この時期を元気に乗り越えましょう！



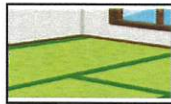
快適な生活をするために (9)

前回に引き続き、皆さんに長く安全に過ごしていただくための住まいを長持ちさせるメンテナンスやチェックポイントなどをお伝えしたいと思います。

【畳】

日本の伝統的な床仕上げ材で、我が国の気候風土に適していることから多く用いられています。

最近では技術も進み、従来の藁床・イグサから化学製品（スタイロホーム等）に変わりつつあり、ダニ、カビも発生しにくくなってきました。



【お手入れ法】

まずは畳の目に沿って、ほうきや掃除機で目に詰まったほこりを掃除して下さい。

畳全体が汚れている時は、酢と水を半量ずつ合わせた酢水で雑巾を固く絞り、さっと拭いた後、乾いた布で丁寧拭いて下さい。

そして、年に1～2回は畳干しをしましょう。

干す際は、畳の裏面が日光に当たるようにしてしばらくおき、ほこりを出して下さい。

畳を敷き込む時は、元どおりに配置して下さい。

敷く位置が変わると隙間ができたりします。

畳の日焼けは、みかんの煮汁で漂白できます。

1リットルくらいの水に、みかんの身の部分を5個入れて煮出し、それを濾して冷まします。

この煮汁で雑巾を固絞りにし、畳を拭いて下さい。

畳に醤油やソースをこぼした時は、小麦粉か塩をたくさんかけて下さい。水分を吸収させた後、ほうきで掃き、残ったものは掃除機で吸い取りましょう。嫌な匂いも消え、「清め」にもなります。

誰もが、すぐ雑巾で拭こうとしますが、雑巾はかえって汚れを広げてしまう恐れがあります。

畳の表替えは、2～3年を目安に行ってください。初回は裏返して使用し、次回は畳表を取り替えます。ペットの糞尿は、熱湯で固く絞った布で叩くようにして拭いた後、酢をつけて拭き、水拭きとカラ拭きをして下さい。



畳の上には、カーペットなどを敷かない方がいいですね。カーペットが畳を蒸らし、ダニ・カビ発生の原因となります。

次号に続く

「虹」

雨上がりの空に美しい虹を見つけて感動した経験はありませんか？

写真や映像ではよく目にするけれど、本物にはそう簡単にお目に掛かれないので喜びもひとしおでしょう。

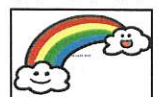
日本では「七色の虹」といいますが、これは世界共通ではありません。アメリカやイギリスでは6色、ドイツでは5色となり、アフリカでは暖色・寒色（あるいは明・暗）で2色という所もあります。

虹というのは、大気中に浮かんでいる微小な水滴の中で太陽の光が屈折・反射して生じます。

屈折率の違いから、外側から赤・橙・黄・緑・青・藍・紫の順になっています。

日本の色に対する感性は実に繊細です。

微妙な色の違いを的確にとらえて、楽しもうとする日本人の感性が、虹をみつめるまなざしにも息づいているのでしょう。



「お先へどうぞ・・・」



「お先へどうぞ・・・」
やさしくうつくしい日本語ですね

ある仏典のあることばに
「自未得度先度他」と
いうのがあります
棒読みにすると
「じみとくどせんどうた」
和文になおすと
「おのれ未（いま）だわたらざる先に他を
度（わた）す」と読みます

いいことは、他人（ひと）様を先に・・・
自分のことは後まわし
という意味だそうです

わたしは、宗教家でも
学者でもありませんので
このことばの出所（でどころ）や出典を
知りません
しかし、「お先へどうぞ・・・」という
暖かい日本語は
この「自未得度・・・」がもとになって
できたのではないかな・・・
と、素人判断で思っております

おそらくまちがっているでしょう
まちがっていてもいいんです
わたしはそう信じたいんです

遠い遠い、先祖の日本人が
こんな美しい、暖かい言葉を
残してくれたんです



他人のことなんかそっちのけ
自分さえよければ・・・
我先に、我先に・・・と
みんな夢中で突ッぱしる

物はいっぱいありながら
殺伐（さつぱつ）として満たされない
心の涸（か）れきった世の中

もう一度
「お先へどうぞ・・・」
という、うるおいのある
美しい日本語で
お互いに呼びかけ合える
世の中になって欲しいなあ・・・
梅雨にぬれて
一段と色あざやかな
あじさいの花が
ある日の午後しみじみと
わたしに語りかけてくれました
「相田みつをさんの詩集」より



私たちの日常生活の中、例えば、電車やバスの
乗り降りの際などに「お先に」と、ひと言声を
掛ければ「どうぞ」という言葉が返ってくるに
違いありません。

相手への敬意と感謝の気持があれば、もう少し
暮らしやすい社会になるような気がします、
皆さんはどう思われますか？

「編集後記」

梅雨時のうっとおしい天候に加え、仕事、勉強、家事や
子育て等、毎日忙しく過ごしている皆さん、ストレスを
抱えていませんか？ 常に100点満点で生きようとすれ
ば、ストレスが強くのしかかります。

定まらない陽気に体調を崩される方もいらっしゃるかも
しれませんが、こんな時は好きな音楽を聴いたり、本を
読んだり、あるいはお風呂に入る等してゆっくりお過ご
しください。

まずは、こころの健康を整えることが大切です。

今月号もお読みいただき有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。
ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子